

高木健次 健政だより

謹賀新年



明けましておめでとうございます。皆様にはお健やかに新年をお迎えること、心よりお喜び申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症が世界各国に蔓延し、熊本においてもその対策に奔走した一年でした。県ではあらゆる対策を講じて感染拡大防止に取り組んでまいりましたが、未だ完全な収束には至っておりません。

今年も引き続き感染防止にしっかりと取り組み、県民の皆様の安全・安心を確保して参ります。また、7月には県南地域をはじめ県内全域で豪雨に見舞われ、広範囲にわたり甚大な被害を受けました。

近年頻発化、激甚化している自然災害に備え、防災・減災、国土強靱化対策をしつかりと行うことが重要かつ喫緊の課題であり、災害に強い、安全で安心なふるさとづくりを進めて参ります。

一方で、昨年は、熊本地震からの復旧が目に見える形で現れた一年でもありました。国道57号北側復旧ルート及び現道が10月に完成し、阿蘇へのアクセスルートが回復しました。今年3月には、新阿蘇大橋が開通する予定です。

また、熊本市から大分市までを結ぶ予定の中九州横断道路については、合志市、熊本市間が事業化されました。早期完成に向けて、関係予算をしつかりと確保して参ります。

今年度は、浦島県政4期目の2年目となります。熊本地震からの復興、コロナウイルス対策、令和2年7月豪雨からの復旧と、3つの困難に直面している本県であります。逆境の中にも「夢がある」とする浦島知事としつかりと連携し、県並びに合志市の発展のため、皆様の「意見を

幅広く伺い、職責を果たして参りますので、なお一層のご支援とご指導を賜りますようお願い致します。

本年が皆様にとりまして、素晴らしい年となりますようお祈り申し上げます。

第52号(冬季号)

発行者
熊本県議会議員
高木健次

電話(096)215-5877
FAX(096)215-5878

政治とは住民の暮らしである

熊本県議会11月定例議会

令和2年11月25日～12月15日(21日間)

11月定例県議会は15日、7月豪雨災害の復旧や新型コロナウイルス感染症対策を進める2020年度一般会計補正予算など75議案を可決・承認・同意して閉会しました。

内訳は予算8、条例4、工事請負契約7、市町村負担金2、計画2、人事2、決算21、意見書4、諮問1、決議1、その他23でした。

一般会計補正予算は、豪雨災害で氾濫した佐敷川(芦北町)の改修など2億7,200万円を追加し、総額1兆830億2,000万円となりました。

意見書では、義務教育での30人学級の推進、排他的経済水域内の海上警備強化、国営大蘇ダムにおける必要な農業用

水及び安全性の確保などを可決しました。

また、新型コロナウイルス対応では、8人の議員が一般質問で検査・医療体制や県の経済対策について尋ねました。県内の感染状況は新規感染者の増加で、リスクレベルが最上位の厳戒警報レベルとなっております。

後にも感染拡大が続く可能性があります。歯止めをかけるにはどうすればよいか、徹底した対策が必要です。

建設常任委員会
委員長報告

本委員会に付託された案件は予算関係4議案、条例等関係15議案です。

今回提出された土木部の11月補正予算は、令和2年7月豪雨災害の対応に要する経費等1億5,700万円の増加補正であり、補正後の予算総額は、一般会計、特別会計合わせて1,643億7,200万円でした。

条例等関係議案については令和2年度港湾事業及び災害関連緊急急傾斜地崩壊対策事業の経費に対する市町負担金について外14議案です。

委員 海岸環境整備事業で流木の撤去に要する経費とあるが、流木はまだ残っているのか。

執行部 海岸漂着流木については、陸揚げしており、これから処分を行うが、陸揚げした流木は塩分や水分を含んでいるため、乾燥させていた。これから順次処分に取り掛かるので作業はまだ残った状況。



海岸漂着流木

委員 7月豪雨で河川に堆積した土砂については、来年の梅雨までに撤去できるのか。

執行部 県管理河川については、速報値として約107万立方メートル堆積しており、次期出水期に向けて、可能な限り、撤去を進めているが、課題は、土砂の処分先の確保であり、現在調整中のところもある。なお、撤去した土砂は、工事間流用や街づくりの盛り土材への利活用等を考えている。

委員 土砂の処分先の確保は前々から課題であり、民有地への有償での処分は検討できないのか。

執行部 土砂の処分先は、基本的に工事間流用を考えたことから、一部は民間の土捨て場も活用していかねばならないかと考えている。

委員 外国人材は、10月から来日数が少しずつ再開しているものの、帰国できない人がいるが現状はどうか。

執行部 管理団体に照会すると、「来日者の不足は帰国できない人材で補っている。あるいはシルバー人材など国内人材で賄っている」と話を聞く。

地域対策特別委員会

委員 外国人材は、10月から来日数が少しずつ再開しているものの、帰国できない人がいるが現状はどうか。

執行部 管理団体に照会すると、「来日者の不足は帰国できない人材で補っている。あるいはシルバー人材など国内人材で賄っている」と話を聞く。

委員 現場の話を聞くと、帰国できない外国人は雇用の不安定さを感じているとのこと。このような状況を知っておくべき。

委員 技能実習生の来日について、航空運賃がアップしている上、2週間の隔離期間も必要で受入側は困っている。

成田空港から公共交通機関を使わないで移動するように求められるが、熊本まで公共交通機関を使わないで来るには高額な費用が掛かる。

執行部 実態と他県の対応を調べて本県の対応を検討したい。

高木委員 U-ターン、移住定住に関しては相談は増えているが、実際にどのくらい熊本に帰ってきているのか。

執行部 U-ターンについては、必ず報告頂けるのではないが、10月までに38人。昨年度一年間で108人。相談件数に対して多くはないので来年度に向けて事業を強化したい。

移住定住については、昨年度は28名。市町村に直接繋ぐ場合もある。市町村と県で数字を出せるように準備中である。

委員 コロナの影響で新規学卒者の就職状況が懸念される。具体的な取組みはあるか。

執行部 来年、新卒者に向けオンラインでの合同企業説明会を実施する予定である。

建設常任委員会 管内視察

去る11月11日(水)、熊本県議会建設常任委員会(高木健次委員長他7名)で、平成28年熊本地震による被災現場の復旧・復興状況等を調査するため、立野ダム建設事業、国道57号現道、阿蘇大橋復旧事業(南阿蘇村)、国道57号北側復旧ルート(阿蘇市)、及び御代志地区土地区画整理事業(合志市)の視察を行なった。



もう「コマ」は隣の集落に住むおばさんがある時期になると縁側に出て新聞が届く。

思えば「コマ」

私は小学6年生のころ、自宅近く50戸ほどの新聞配達をしました。歩いての配達でしたが最初は教えられたとおりの道順で、慣れてくると家から家に近道を通りました。そのせいか、思い出すのはいくつもの狭い道や降り積もった雪で竹が折れ曲がっていた風景です。



立野ダム現場で挨拶する高木委員長

①立野ダム工事(南阿蘇村立野)

立野ダム建設工事は、白川沿川の洪水被害を防ぐことを目的とした洪水調節専用ダムであり、平成30年度から本工事に着手している。現在の進捗状況等について国土交通省職員より説明を受ける。

②国道57号現道部(南阿蘇村河湯)及び国道57号北側復旧ルート(阿蘇市車帰) 昨年10月3日に開通し熊本市内方面から阿蘇市への時間短縮が大幅に図られたことにより、多くの人が阿蘇を訪れ、震災前に戻ることを期待している。

③阿蘇大橋復旧事業(南阿蘇村河陽)



合志市で挨拶する高木委員長



北側復旧ルートで説明をする高木委員長

熊本地震により、崩落した阿蘇大橋に替わる橋として、今年の3月開通を目指し工事

をよく待つておられ、届けることに新聞を広げ、記事を読んでいます。何を覚えているのか読んでいるのか、その時は分からず、分かったのはずいっと後になってからでした。郷土が生んだ名力士、福の花のお母さんでした。テレビも電話も数えるほどしかない時代、相撲の成績を知る手段は新聞しかなかったのです。故郷を遠く離れて、大相撲界に飛び込んだ息子の活躍と無事を確かめておられたのでしよう。この歳になっても思い出しに残るシートの一つです。

高木けんじ後援会事務局長
緒方 明

が進められている。国土交通省九州地方整備局熊本復興事務所から、現在の進捗状況及び今後の見通しについて説明を受ける。

④御代志地区土地区画整理事業(合志市御代志)

この事業により、御代志駅前広場の整備や国道387号交差点改良が行われ、商業施設や複合施設等の都市機能施設を立地誘導することにより、「こころの顔」としての拠点形成を図る。

複数の委員から、合志市は人口が増加しており、県内で一番元気がいいのではないかと、羨ましいとの発言があり、一方、市からは、人口が増えているのは嬉しいが、人口増加に伴う課題もあるなどの話もあった。全般を通して、熊本地震からの被災現場の復旧・復興が着実に進んでいることを確認した。

高木県議の主な動き

- 10月 20日 第五回決算特別委員会
- 21日 県北広域本部会議
- 23日 第六回決算特別委員会
- 26日 第七回決算特別委員会
- 28日 総裁表彰者祝賀会
- 11月 5日 決算正副委員長 打合せ
- 10日 九州中央自動車道・中九州横断道建設促進大会(東京)
- 11日 建設常任委員会管内視察
- 12日 球磨川治水問題に係る知事の意見聴取
- 16日 自民党政審会
- 17日 第八回決算特別委員会
- 21日 全国都市緑化フェア
- 25日 御代志土地区画整理事業起工式

- 12月 1日 一般質問
- 1日 教育警察部会
- 3日 正副委員長事前説明会
- 4日 政策審議会役員会
- 5日 厚生部会
- 8日 九州中央自動車道・蘇陽五ヶ瀬道路中心杭打ち式
- 10日 議員団総会



坂本内閣府特命担当大臣挨拶

- 11月 26日 11月定例県議会開会
- 第九回決算特別委員会 看護職との交流会
- 合志市商工会懇談会

編集後記

新年明けましておめでとうございます。昨年は新型コロナウイルスの流行で高木けんじ後援会主催のグラウンドゴルフ大会や高健杯ゴルフコンペ等、皆様が楽しみにされていた全てのイベントを中止せざるを得ませんでした。残念で仕方ありません。さて、今年の干支は丑。うし年は先を急がず一歩一歩着実に物事を進めることが大切な年と言われています。昨年より延期となった東京オリンピック・パラリンピックの着実な開催と、新型コロナウイルスの終息を祈って。皆様、今年もよろしくお願致します。

県議会議員高木健次事務所

所在地 熊本県合志市栄3240-1
電話 096-215-5877
FAX 096-215-5878
メール takaki@kvd.biglobe.ne.jp

ホームページQRコード

- 11日 合志小学校西部地区 区長懇談会
- 12日 中九州横断道路大津熊本道路中心杭打ち式
- 15日 北朝鮮拉致問題 解決に向けた講演会
- 11月 議員団総会
- 11月 定例県議会開会



中九州横断道路大津熊本道路中心杭打ち式